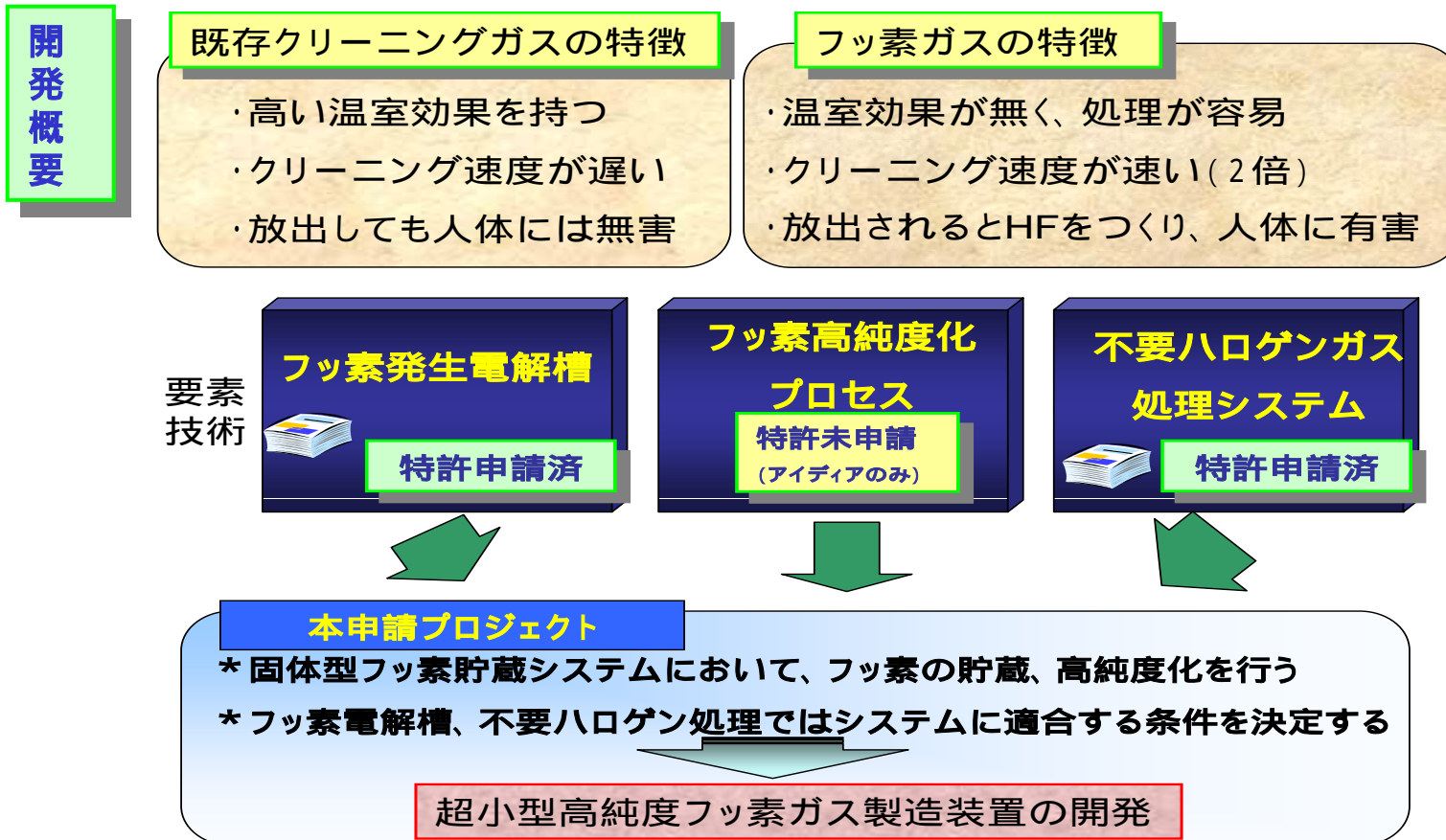


フッ素発生電解槽の実用化提案

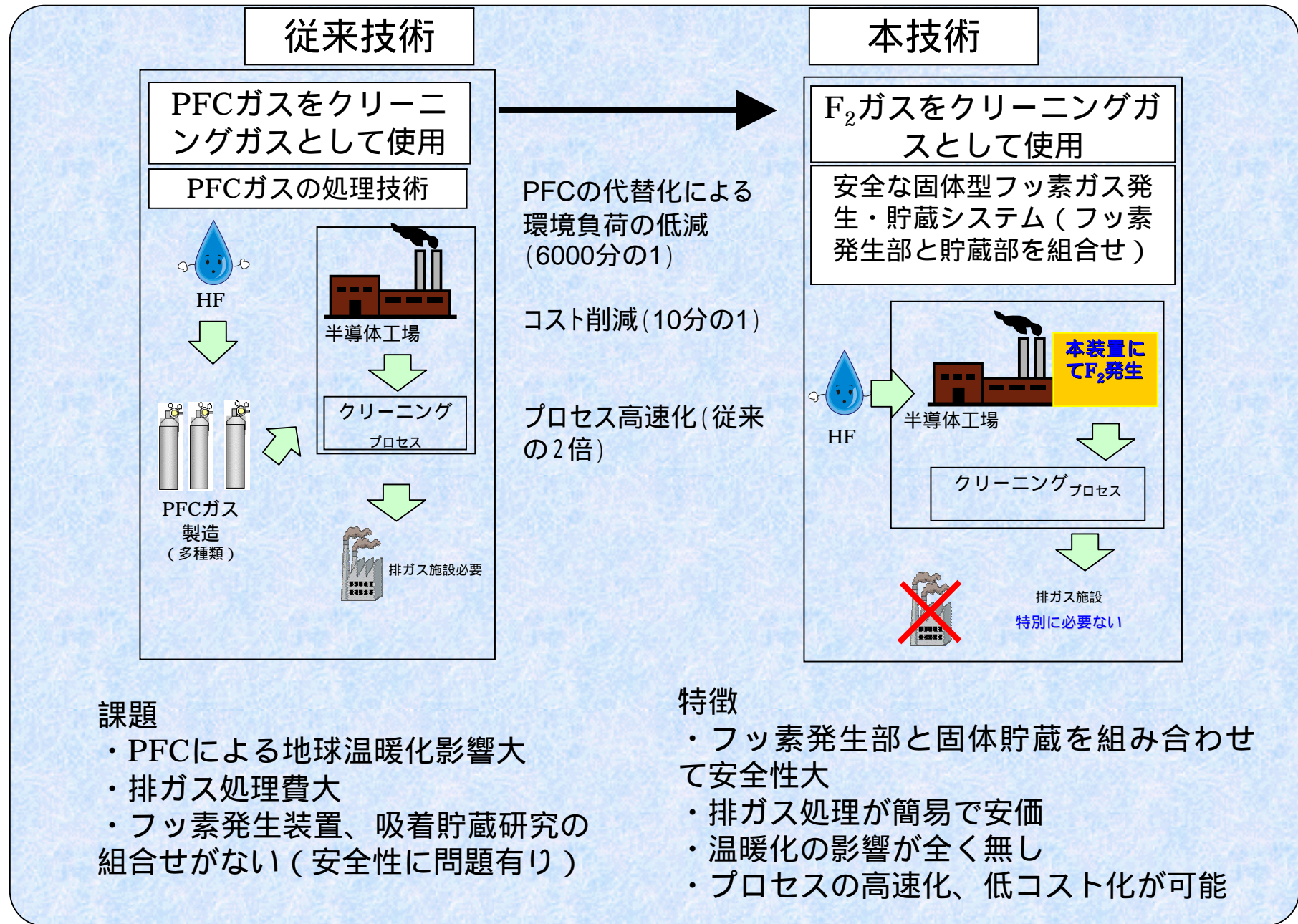
エコロジー工学系 助教授 金 熙濬

目的

PFC等のエッチングガスの代替物質である F_2 発生電解槽の開発及び実用化提案を行う。超小型電気分解フッ素(F_2)発生装置における、発生ガスの高純度化、安全性確保、安定性を向上したシステムの実用化を目指す。



技術比較、課題と特徴



課題

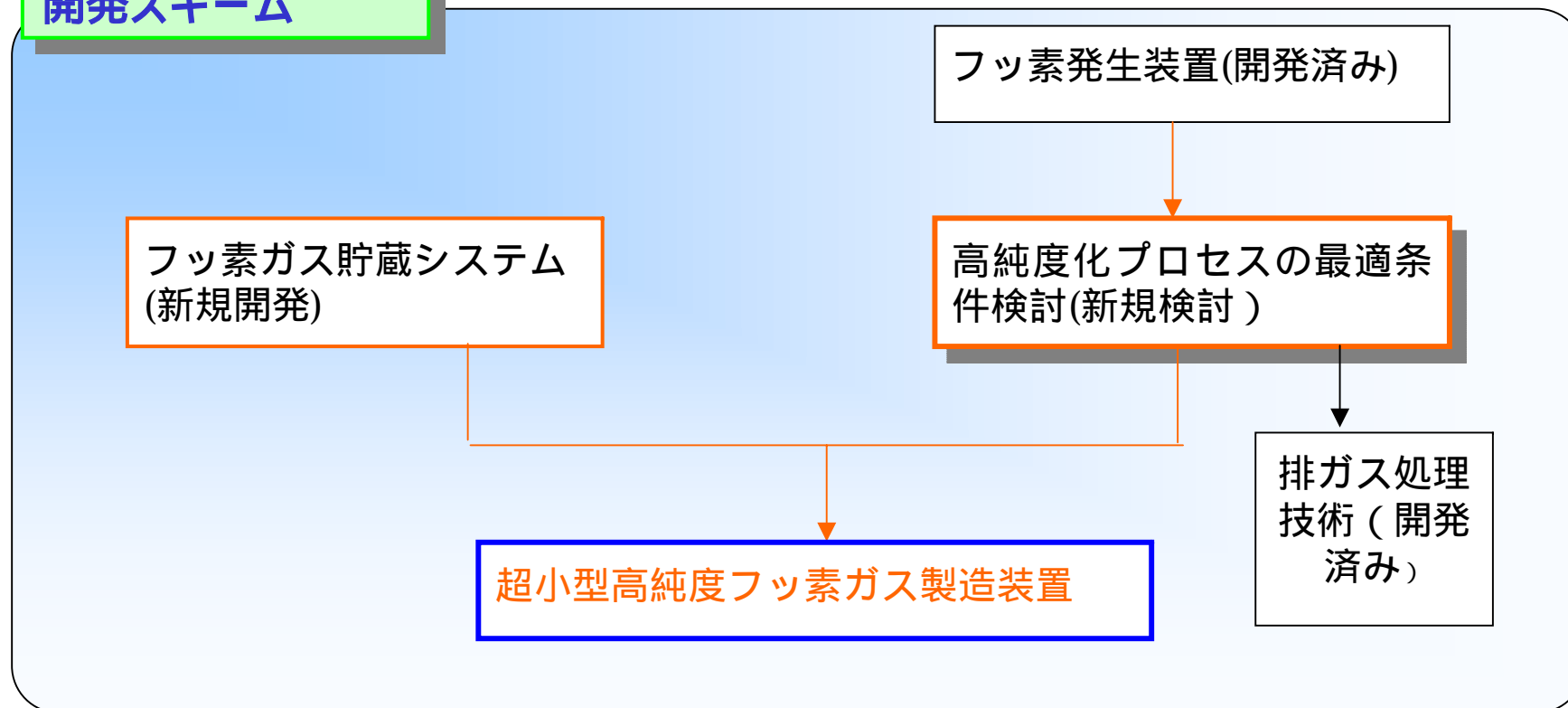
- ・ PFCによる地球温暖化影響大
- ・ 排ガス処理費大
- ・ フッ素発生装置、吸着貯蔵研究の組合せがない (安全性に問題有り)

特徴

- ・ フッ素発生部と固体貯蔵を組み合わせで安全性大
- ・ 排ガス処理が簡易で安価
- ・ 温暖化の影響が全く無し
- ・ プロセスの高速化、低コスト化が可能

フッ素発生電解槽の開発スキーム

開発スキーム



H18年度の予定

- ・発生電解槽の製作と排出フッ素の定量分析法の確立
- ・発生フッ素ガスの高純度化(99%以上の純度)
- ・不純物削減のための条件の検討